

EU Indicators

欧州経済指標コメント：1月ドイツ鉱工業生産

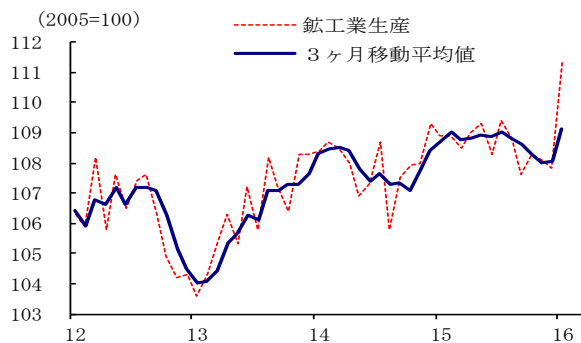
発表日：2016年3月8日(火)

～不安一掃～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

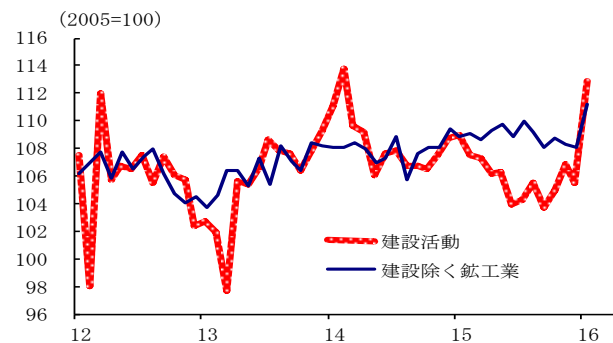
- 1月のドイツの鉱工業生産は前月比+3.3%と大幅増産を記録。過去2ヶ月減産が続いた後とは言え、前月値の上方修正(同▲1.2%→同▲0.3%)もあり、1-3月期の生産活動は好スタートを切った。
- 財別の内訳は、資本財(前月：同▲0.1%→今月：同+5.3%)、耐久消費財(同+2.4%→同+3.6%)、非耐久消費財(同▲1.4%→同+3.7%)、建設(同▲1.3%→同+7.0%)が全体の計数を押し上げた。今月の計数は温暖な天候による建設活動の活況が上押しした面もあるが、建設業を除く鉱工業生産(同▲0.2%→同+2.9%)も急伸した。業種別には、自動車生産(同▲4.4%→同+7.6%)が過去2ヶ月の落ち込みから大きく盛り返しており、これは12月に一部工場の操業停止期間が例年より長かったことも影響した模様。業界統計によれば、2月に自動車生産の勢いはやや鈍化した。ただ、財別・業種別を問わず幅広い細目で1月の季節調整済み計数が増加しており、やや不自然さがある点是否めない。季節性の除去がうまく出来ていない可能性もある。
- こうした一過性の要因の剥落で2月は反動減が予想されるものの、2・3月平均が同▲3.0%以上の落ち込みとならない限り、1-3月期は3四半期振りの増産となる。昨日発表された製造業受注とともに、ドイツの製造業回りのハードデータは底堅い。ソフトデータの弱さが先々の景気指標に反映されるとみられるものの、世界景気の減速懸念もドイツにとっては“どこ吹く風”と言った感がある。

■ドイツ：鉱工業生産



出所：ドイツ経済技術省

■ドイツ：鉱工業生産と建設活動



出所：ドイツ経済技術省

■ドイツの鉱工業生産(季節調整済み、前期<月>比、%)

	2015				2015												2016
	1Q	2Q	3Q	4Q	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月			
鉱工業生産	-0.1	-0.2	0.4	-2.5	0.5	0.3	-0.9	1.0	-0.5	-1.1	0.7	-0.2	-0.3	3.3			
製造業・鉱業	-0.0	-0.3	0.6	-2.6	0.5	0.6	-1.1	1.1	-0.7	-1.0	0.7	-0.5	0.2	3.2			
中間財	-0.7	0.4	-0.8	-2.4	0.5	-0.1	-0.2	-0.6	0.4	0.1	-0.9	1.0	1.0	0.4			
資本財	0.9	-0.8	1.5	-3.6	1.1	1.1	-2.4	2.9	-1.7	-1.3	2.6	-2.8	-0.1	5.3			
消費財	-0.9	-0.5	1.2	-0.4	-0.7	1.8	0.1	-0.1	-0.2	-3.0	-0.1	1.9	-0.7	3.7			
耐久財	-2.4	-0.3	0.7	-4.7	1.5	1.3	-4.6	0.4	6.0	-6.4	1.4	0.0	2.4	3.6			
非耐久財	-0.6	-0.5	1.3	0.5	-1.2	1.9	1.2	-0.2	-1.4	-2.2	-0.4	2.3	-1.4	3.7			
エネルギー	2.8	0.5	-0.4	-2.5	1.6	-2.3	2.4	1.2	-1.9	-0.1	-2.4	1.8	-3.7	0.1			
建設	-2.7	0.4	0.4	-1.9	-1.0	0.1	-2.2	0.3	1.2	-1.6	1.2	1.8	-1.3	7.0			

出所：ドイツ経済技術省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。